

科目名	上級ダイビング実習							年度	2026
英語科目名	Advanced scuba diving							学期	前期
学科・学年	スポーツトレーナー科三年制 2年次	必/選	選※	時間数	30	単位数	1	種別※	実習
担当教員	平川	教員の実務経験		有	実務経験の職種		ダイビングインストラクター		

【科目の目的】

アドバンスダイバーとして必要な技術を再確認し、更なる経験を習得し、グループコントロール方法などを通じダイビングリーダーとなる為の訓練を実施します。
安全に楽しくダイビングを行う上での潜水計画の立案、その計画を実行するための潜水技術、様々なトラブル対応策、ダイビングリーダーとしての知識と技術を習得します。

【科目の概要】

スクーバダイビング「ダイブマスター」資格取得のために必要な知識技術について、講義と海洋実習を通じて学びます。

【到達目標】

ダイビングリーダーで最も大切なことは、受講者の安全確保です。万一トラブルが発生したときの救急体制の確立も重要です。水中でのトラブルや潜水中の事故を未然に防止することです。優れた専門知識と高度な潜水技術、安全管理能力が備えられるようにします。

【授業の注意点】

中級ダイビング資格取得者対象。ダイビング器材は乱暴に扱わず、実習中は大切に使用してください。実習中の健康管理には十分気を付けてください。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック 評価	レベル3 優れている		レベル2 ふつう		レベル1 もう少し
到達目標 A	適切なリーダーシップを 発揮できる		概ねリーダーシップを発 揮できる		リーダーシップを理解で きる
到達目標 B	正確・迅速にスキンに関 して実施できる		正確にスキンに関して実 施できる		問題無くにスキンに関し て実施できる
到達目標 C	正確・迅速にスクーバに 関して実施できる		正確にスクーバに関して 実施できる		問題無くにスクーバに関 して実施できる
到達目標 D					
到達目標 E					

【教科書】

ダイブマニュアルⅠ、Ⅱ／レスキューマニュアル

【参考資料】

【成績の評価方法・評価基準】

筆記試験・実技試験

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		上級ダイビング実習			年度	2026
英語表記		Advanced scuba diving			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	チームリーダーについて	チームリーダー	1 グループ潜水・チームリーダーについて	グループ潜水の注意事項やリーダー、アシスタントの役割など具体的な動きを理解します	2	
2	潜水計画の立案法	安全管理	1 安全管理、潜水計画の立案法	ダイビング中の安全管理、潜水計画及び実施に必要なものを理解します	2	
3	トラブル回避	トラブル回避	1 トラブル回避策、救急法、CPR	アクシデントの回避策・AED訓練機を使用し救急法技術を習得します	2	
4	【スキン&スクーバ】 器材について	器材取り扱い	1 器材の取り扱い&チェック&セッティング&リセット&水洗い	ダイビング器材の取扱、チェック方法、洗い方などの習得	2	
5	【スキン】	スキン・スキル	1 スキル	スキンドайビングでの入水・出水法、スノーケル呼吸法とクリア法の技術を習得します	2	
6			1 マスククリア（マスクなし呼吸、マスク投げ）	スキンドайビング装備でのマスククリアーの基本技術と応用技術の習得	2	
7			1 ウェイト離装着	水面、水中でのウェイト離装着方法を習得します	2	
8			1 潜降/浮上、マスククリア、ウェイト離装着	水深5m程度への垂直潜水法、マスク・ウェイトを水中で外し、水中で装着する方法の習得	2	
9	【スクーバ】	スクーバ・スキル	1 基本技術の確認	スクーバダイビングの基本技術の習得	2	
10			1 水中コンパスナビゲーション	水中でコンパスナビゲーションの習得	2	
11			1 水中情報の収集	潜水計画立案に必要な水中シーンの情報収集の仕方を修得	2	
12			1 リーダー研修①	潜水計画に沿った潜水、安全管理方法を実施し、リーダーの理解を深める	2	
13			1 リーダー研修②③		2	
14	1 リーダー研修④	2				
15	【レスキュー】	レスキュー	1 レスキュー訓練	沖合で溺れている人の救助方法を習得します	2	

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等